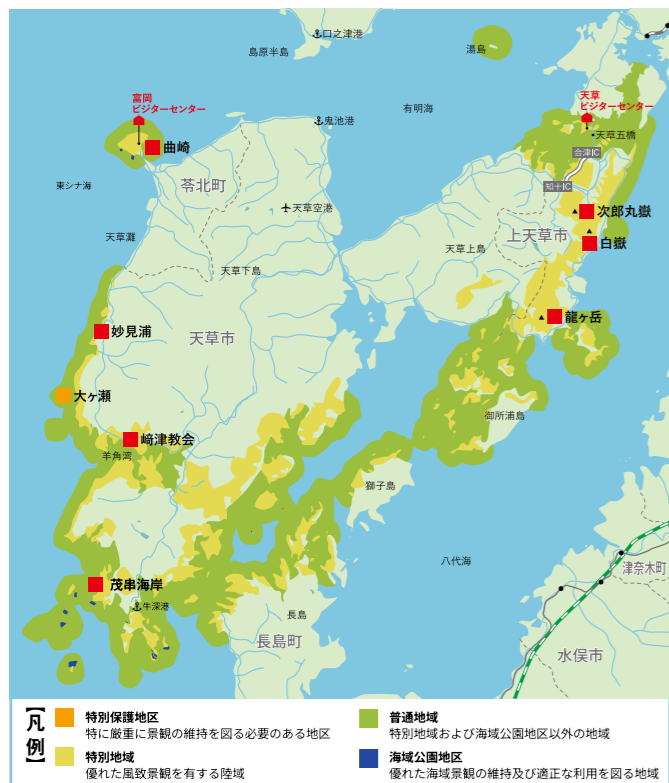


天草が国立公園の指定となった経緯

雲仙天草国立公園 天草地域



悲願の「天草」編入へ

天草の美しい自然が「国立公園」として認められるまでには、長い歴史と地域の人々の熱い願いがありました。雲仙と天草が一体となって国立公園となる案が国の委員会で提案されていましたが、当時の方針として風景のまとまりが重要視されたことから、日本初の国立公園には雲仙地域のみが指定されました。

戦後、地元では「この美しい天草の景観を国立公園に」という運動が盛り上がり、その熱意が実を結んだのが昭和31年（1956年）7月20日。雲仙国立公園に天草地域が加わり、名称も現在の「雲仙天草国立公園」へと改称されました。これにより、長崎県の「火山の雄大な景観」と、熊本県の「優美な多島海の景観」が一つになり、日本でも類を見ない多様な魅力を持つ国立公園が誕生したのです。

実は日本初！海の国立公園の歴史

昭和45年（1970年）、それまでの「陸の風景」を守る仕組みに加え、美しい海の中の世界を守る「海中公園（現在の海域公園）」制度が誕生しました。その際、栄えある日本初の指定地として選ばれたのが、天草海中公園（天草・牛深・富岡）を含む全国5カ所の海。当時、牛深の三和島周辺や富岡の海域は、色とりどりのサンゴ礁や熱帯魚が舞う、まさに「海の絶景」として高く評価されたのです。

茂串海岸



指定から70年

守り・つなぐ

雲仙天草国立公園

私たちの目の前に広がる穏やかな海と緑豊かな山々。この美しい天草の景観が認められ「雲仙天草国立公園」となってから、7月で70周年という節目を迎えます。特筆すべきは、私たちがこの日本を代表する絶景の中で、生活を営んでいること。この特別な場所に住む誇りと、先人たちが守り抜いてきた歴史を、今改めて振り返ってみませんか。

問 観光振興課 ☎32-6787



これ知っとこ！

国立公園制度は、1872年にアメリカのイエローストーンで始まり、世界へ広がりました。日本でもその制度を手本とし、昭和9年（1934年）3月に「瀬戸内」「雲仙」「霧島」の3カ所が国内初の国立公園として誕生しました。その後、戦前・戦後を通じて数は増え続け、2024年には35番目となる「日高山脈襟裳十勝国立公園」が指定。現在は、美しい風景の保護と活用のために、きめ細やかな管理が行われています。



日本の国立公園は、自然公園法に基づき国が指定した日本を代表する風景地です。現在、全国35カ所が指定され、国土の約6.5%を占めています。そこには、豊かな水や火山の恵み、そして人の手が入ることによって生態系と自然環境が保たれ、7000種の植物、1000種を超える動物、7万から10万種もの昆虫類などが生育・生息しています。また、一部では農地や集落を含んでおり、その土地ごとの歴史や伝統、文化に触れることができます。日本の国立公園は、自然環境が生み出した大自然とその地方特有の文化を体感できる場所なのです。

国立公園って何？

守り・つなぐために活動する人

九州環境事務所
天草自然保護官事務所

たけいししゅんぱち
武石 俊八 さん



実は日本の国立公園は海外と違い、多くの私有地が含まれています。これにより、景観を守るために建物の形や色、木を切ることなどにルールが

決まっています。皆さんのご理解とご協力が欠かせません。大切に守り継がれてきたこの景色を、次の世代の子どもたちにも残したい。この価値をもっと知ってほしいとの思いから、今年3月には地域の魅力をまとめた「ストーリーブック」も発行しました。

阿蘇くじゅう国立公園や出水でのツルの保護などの勤務を経て、今年4月に天草自然保護官事務所に着任しました。天草を回る中、ふと目に入る海岸線の美しさや、地域によって異なる景色を楽しめることに感動しています。私の仕事は、この素晴らしい風景や皆さんの「心の休養の場」である国立公園を守ることで

国立公園内でキャンプやSUPを楽しむ際は、サンゴを傷つけない、テントを立てる前に許可が必要を確認するなど、自然への配慮をお願いします。皆さんと共に、この宝物を未来へつないでいければうれしいです。

天草の美しい風景を、共に次世代へ

ストーリーブック



学生時代から通算すると30年近く天草臨海実験所に所属し、天草の海を見つめて続けてきました。天草は3つの海に囲まれ、温帯と亜熱帯の生き物が共存する、世界でも珍しいほど豊かな場所です。しかし今、海には異変が起きています。この80年で最低水温が2.6度も上がり、昔は当たり前にあつたヒジキが消え、魚の種類も変わりました。生き物は一つの種だけでは生存できません。他の生物や環境とどのようにして共存していくかの調査を続けています。

当たり前にある天草の海、その「変化」に目を向けて

九州大学理学部附属
天草臨海実験所

あらかき せいじ
准教授 新垣 誠司 さん



天草臨海実験所
苓北町富岡に1928年設立。全国で4番目に古い臨海実験所であり、1万点ほどの標本が保管されている。

未来を担う子どもたちには、ネットで調べただけでなく、まずは海を覗き込むなど、自分の目で本物の生き物を見てほしいですね。そして海で遊ぶときは、真返した石を元に戻してあげてください。そんな小さな思いやりが、生き物たちの命を救います。天草の海は、島外の人から見れば宝の山。でも地元にいると当たり前すぎて、そのすごさや変化になかなか気付けないものです。この豊かな海をこれからも一緒に守っていきましよう。

天草自然公園
ボランティア協会

かない のりあき
会長 金井 憲昭 さん



天草自然公園
ボランティア協会

平成元年に発足し、現在の会員は45人ほど。金井さんの会歴は約10年。

カメラと鉋くわを手に、「アマキサミツバツツジ」や「ハッチョウトンボ」など希少な動植物の調査や観察会を続けています。活動の醍醐味は、毎年同じ場所へ行っても新しい発見があること。詳しい仲間には教わったり、一般向けの観察会ではガイドを行い、参加者の喜ぶ顔を見られたりするのが一番の元気の源です。

かまれたらすぐ病院へ。命に関わることもあるので、対策は万全に行うようお願いいたします。この素晴らしい自然に囲まれた天草に住む子どもたちには、スマホの画面越しではなく、ぜひ本物の自然に触れてほしいと思っています。危険を正しく学び、自然の中で遊ぶ楽しさを知ることが、一生の宝物になります。私たち大人が、その機会をたくさん作ってあげたいですね。

素晴らしい自然を体験してほしい

まがりさき
富岡半島・曲崎 苓北



円湾を抱きしめるように伸びる「曲崎」は、沿岸流が運んだ砂礫が堆積してできた砂嘴。富岡城から見下ろすその姿は、まさに自然と歴史が融合した国立公園の象徴的な景観です。

ししほえみさき
獅子吼岬 牛深



天草最南端に位置し、その名のとおり「獅子が吼える」ような姿をした断崖絶壁。牛深港から出るグラスボートで海の上から間近に仰ぎ見ることができます。

羊角湾と崎津集落 河浦



複雑に入り組んだりアス海岸が、天然の良港を作り出している羊角湾。その中ほどに崎津集落があり、ダイナミックな海岸地形と深い歴史文化が溶け合った、天草を象徴する絶景です。

国立公園内の豊富な自然資源

大ヶ瀬 天草



東シナ海の荒波に削られた荒々しい岩礁群。海中には大規模なサンゴ礁が広がり、海域公園にも指定されています。水平線に沈む夕日が巨岩をシルエットに変える光景は圧巻。

倉岳山頂 倉岳



天草諸島の最高峰・倉岳山頂に立つ倉岳神社。古くから霊山としてあがめられてきたこの場所は、天草で最も空に近い特等席です。

きょうどまり
京泊の恐竜化石発見地 御所浦



平成9年に、天草で最初に恐竜の化石が見つかった場所。植物食恐竜の脚のすねの部分で、竜脚類またはヨロイ竜のものと考えられています。

竜洞山 新和



穏やかな不知火海に浮かぶ島々や、遠く鹿児島山々まで見渡せます。キャンプ場も整備され、国立公園の豊かな森の中を堪能できる癒しの拠点です。

松島 松島



天草五橋が島々をつなぐ造形美と、複雑に入り組んだ海岸線が作り出すコントラストは、まさに自然が作り上げた絵画のような美しさです。

ハッチョウトンボ 姫戸



体長わずか2cmほどの世界最小のトンボ。この繊細な命が守られていることは、国立公園の豊かな生態系と、それを育む清らかな水環境が維持されている証です。

龍ヶ岳山頂 龍ヶ岳



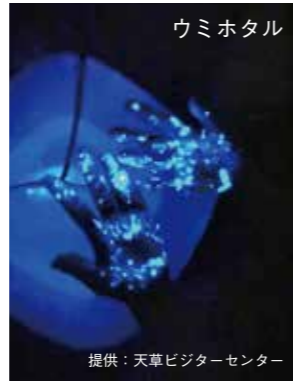
国の名勝にも指定されている景勝地。不知火海の多島海美を最も美しく切り取れる場所の一つです。

国立公園を学ぶ

天草ビジターセンター
上天草市松島町合津 ☎56-3665

入場料 無料
開館時間 9:00~17:00(火曜休館)

天草地域の豊かな自然や文化、歴史を楽しく学べる施設です。館内では、床面の地図にタブレットをかざすと観光名所が飛び出すAR(拡張現実)体験や、迫力あるミニシアターが人気。センターが位置するエリアは、絶滅危惧種「ハクセンシオマネキ」の生息数日本一を誇る貴重な場所でもあります。8月には、このハクセンシオマネキや幻想的なウミホタルの観察会も開催予定。国立公園の魅力を肌で感じに、ぜひ足を運んでみませんか。



富岡ビジターセンター
天草郡苓北町富岡 ☎35-0170

入場料 無料
開館時間 9:00~17:00(水曜休館)

国立公園の豊かな自然や歴史、文化を深く知ることができる拠点です。富岡城の本丸跡に建つセンターは、かつての「本丸多門櫓」を再現した風格ある外観が目印。最大の見どころは、3面スクリーンで天草の海を体感できる「天草海中体験シアター」です。東シナ海や有明海、八代海という周囲を囲む3つの海それぞれの個性を、美しい水中映像で楽しめます。他にも、国内外の国立公園を紹介するモニターなども人気があります。



「本丸多門櫓」を再現した風格ある外観

大型モニターで国内外の国立公園を紹介



天草海中体験シアター
※機器不良のため現在利用できません。



天草の自然と歴史は、国立公園として70年にわたり地域の宝として守られてきました。豊かな海と島々、山々、そしてそこに暮らす生き物や伝統文化は、私たちの暮らしを支える原風景です。国立公園は公的な保護と活用の両輪で成り立っており、景観を守るルールとの理解と協力が欠かせません。私たちの責任は、未来の子どもたちにもこの宝をそのまま引き継ぐこと。ごみを出さない、海で遊ぶときは自然を傷つけないといった日常の小さなことからはじめ、取り組みを継続していきましょう。

国立公園を利用しやすく

トイレの新築や洋式化



倉岳山頂のトイレの新築、十三仏公園や西平椿公園などのトイレの洋式化などを行い、利用しやすいように整備しました。

今年度は倉岳山頂第2駐車場を整備予定



国立公園内の園地や野営場10カ所に、英語や中国語、韓国語など6言語の解説看板を設けました。また、看板内の二次元コードを読み込むと、そのスポットを紹介する動画を視聴できます。

多言語解説の看板設置



解説動画(妙見浦)

楽しみ方はいろいろ 国立公園を楽しむ

グラスボート



まるで海中散歩。船底のガラス越しに色鮮やかなサンゴや熱帯魚の世界を気軽にのぞける!

牛深港から



ダイビング



天草の海の深淵へ。国立公園の豊かな生態系を全身で体感しよう!

SUP



水面に立ち、海の上を散歩するような不思議な感覚!

お気に入りのイスを持って、好きな景色の中に置くだけ。何もしない贅沢を味わえる!

チェアリング



トレッキング



季節ごとの草花や澄んだ空気を楽しみながら、心身をリフレッシュ!

キャンプ



夜は満天の星空、朝は波の音で目覚める。国立公園の自然にどっぷりと浸かる特別な体験!